別記様式第５号（第15条関係）

※　資料区分		※　受理警察署	（　　署）
※　受理番号		※　受理年月日	年　月　日

警　備　業　廃　止　届　出　書

警備業法第１０条第１項の規定により届出をします。

年　　月　　日

公安委員会　殿

届出者の氏名又は名称及び住所

（フリガナ） 氏名又は名称	
法人等の種別	１．個人　２．株式会社　３．持分会社　４．財団法人　５．社団法人 ９．その他
認定証を交付した公安委員会の名称	公安委員会※
認定証の番号	
廃止の年月日	年　月　日
廃止の事由	

記載要領

１　※印欄には、記載しないこと。

［削る。］

２　数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと。

備考

用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

別紙２（届出者が法人の場合のみ記載）

代表者	（フリガナ） 氏名	
	住所	電話　（　）　－　番
役員	役職	１．取締役又は執行役　２．監査役　３．業務を執行する社員　４．理事　５．監事　９．その他
	（フリガナ） 氏名	
	住所	電話　（　）　－　番
役員	役職	１．取締役又は執行役　２．監査役　３．業務を執行する社員　４．理事　５．監事　９．その他
	（フリガナ） 氏名	
	住所	電話　（　）　－　番
役員	役職	１．取締役又は執行役　２．監査役　３．業務を執行する社員　４．理事　５．監事　９．その他
	（フリガナ） 氏名	
	住所	電話　（　）　－　番
役員	役職	１．取締役又は執行役　２．監査役　３．業務を執行する社員　４．理事　５．監事　９．その他
	（フリガナ） 氏名	
	住所	電話　（　）　－　番
役員	役職	１．取締役又は執行役　２．監査役　３．業務を執行する社員　４．理事　５．監事　９．その他
	（フリガナ） 氏名	
	住所	電話　（　）　－　番

記載要領

１　※印欄には、記載しないこと。

［削る。］

２　数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと（「警備業務の区分」及び「警備業務の種別」欄については、２以上の区分又は種別の警備業務を行う場合には、該当する数字すべてを○で囲むこととし、そのうち主として行うものについては、◎とすること。）。

３　営業所ごとの「警備業務の区分」欄及び「選任に係る警備業務の区分」欄中の「１号」とは法第２条第１項第１号の警備業務の区分を、「２号」とは同項第２号の警備業務の区分を、「３号」とは同項第３号の警備業務の区分を、「４号」とは同項第４号の警備業務の区分をいう。

４　「警備業務の種別」欄中の「現金運搬警備業務」とは、貴重品運搬警備業務のうち現金の運搬に係るものをいう。その他の用語の意義については、警備員等の検定等に関する規則（平成１７年国家公安委員会規則第２０号）第１条を参照すること。

５　所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。

備考

用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

別記様式第５号（第15条関係）

※　資料区分		※　受理警察署	（　　署）
※　受理番号		※　受理年月日	年　月　日

警　備　業　廃　止　届　出　書

警備業法第１０条第１項の規定により届出をします。

年　　月　　日

公安委員会　殿

届出者の氏名又は名称及び住所

（フリガナ） 氏名又は名称	
法人等の種別	１．個人　２．株式会社　３．持分会社　４．財団法人　５．社団法人 ９．その他
認定証を交付した公安委員会の名称	公安委員会※
認定証の番号	
廃止の年月日	年　月　日
廃止の事由	

記載要領

１　※印欄には、記載しないこと。

２　届出者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。

３　数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと。

備考

用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

別紙２（届出者が法人の場合のみ記載）

代表者	（フリガナ） 氏名	
	住所	電話　（　）　－　番
役員	役職	１．取締役又は執行役　２．監査役　３．業務を執行する社員　４．理事　５．監事　９．その他
	（フリガナ） 氏名	
	住所	電話　（　）　－　番
役員	役職	１．取締役又は執行役　２．監査役　３．業務を執行する社員　４．理事　５．監事　９．その他
	（フリガナ） 氏名	
	住所	電話　（　）　－　番
役員	役職	１．取締役又は執行役　２．監査役　３．業務を執行する社員　４．理事　５．監事　９．その他
	（フリガナ） 氏名	
	住所	電話　（　）　－　番
役員	役職	１．取締役又は執行役　２．監査役　３．業務を執行する社員　４．理事　５．監事　９．その他
	（フリガナ） 氏名	
	住所	電話　（　）　－　番
役員	役職	１．取締役又は執行役　２．監査役　３．業務を執行する社員　４．理事　５．監事　９．その他
	（フリガナ） 氏名	
	住所	電話　（　）　－　番

記載要領

１　※印欄には、記載しないこと。

２　届出者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。

３　数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと（「警備業務の区分」及び「警備業務の種別」欄については、２以上の区分又は種別の警備業務を行う場合には、該当する数字すべてを○で囲むこととし、そのうち主として行うものについては、◎とすること。）。

４　営業所ごとの「警備業務の区分」欄及び「選任に係る警備業務の区分」欄中の「１号」とは法第２条第１項第１号の警備業務の区分を、「２号」とは同項第２号の警備業務の区分を、「３号」とは同項第３号の警備業務の区分を、「４号」とは同項第４号の警備業務の区分をいう。

５　「警備業務の種別」欄中の「現金運搬警備業務」とは、貴重品運搬警備業務のうち現金の運搬に係るものをいう。その他の用語の意義については、警備員等の検定等に関する規則（平成１７年国家公安委員会規則第２０号）第１条を参照すること。

６　所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。

備考

用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。